

2010(平成22)年2月15日

仕事と生活のバランスへの 兵庫県の取り組み

兵庫県理事 清原桂子

1. 政労使の取り組み

1) 有効求人倍率史上最低0.32 連合兵庫、兵庫県経営者協会、兵庫県による「**兵庫県雇用対策三者会議**」の設置(99)

2) 三者による「**兵庫型ワークシェアリングについての合意(兵庫合意)**」(99)

- ・「兵庫型」…「労働者個人にとっての職業生活と家庭生活、地域生活のバランスを確保」(合意第2項)
- ・労使によるワークシェアリングガイドライン(00)
- ・企業へのアドバイザー派遣(00)、導入モデル事業所への助成(02)

3) 三者による「**仕事と生活の調和と子育て支援に関する三者合意**」(06)

- ・アクションプログラム策定(06)
- ・「多様な働き方」「育児休業等両立支援の推進」の2部会設置(06)
- ・実践モデル開発と試行実施(07)
- ・仕事と生活のバランス推進事業(08)
- ・三者と兵庫労働局の四者による「仕事と生活のバランス」ひょうご共同宣言(08)



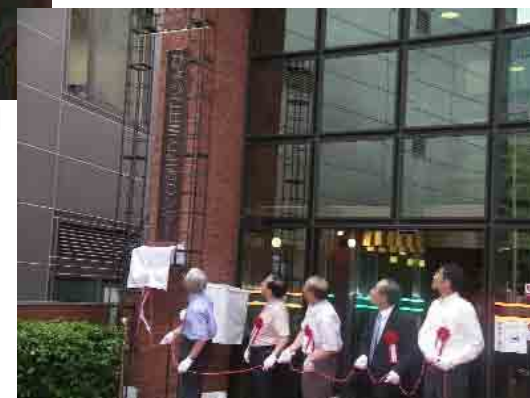
【ひょうご子ども未来三者合意締結(06)】

4) **ひょうご仕事と生活センターの新設(09)**

法人県民税超過課税(第8期、09.10月～14.9月)(0.8%)の活用

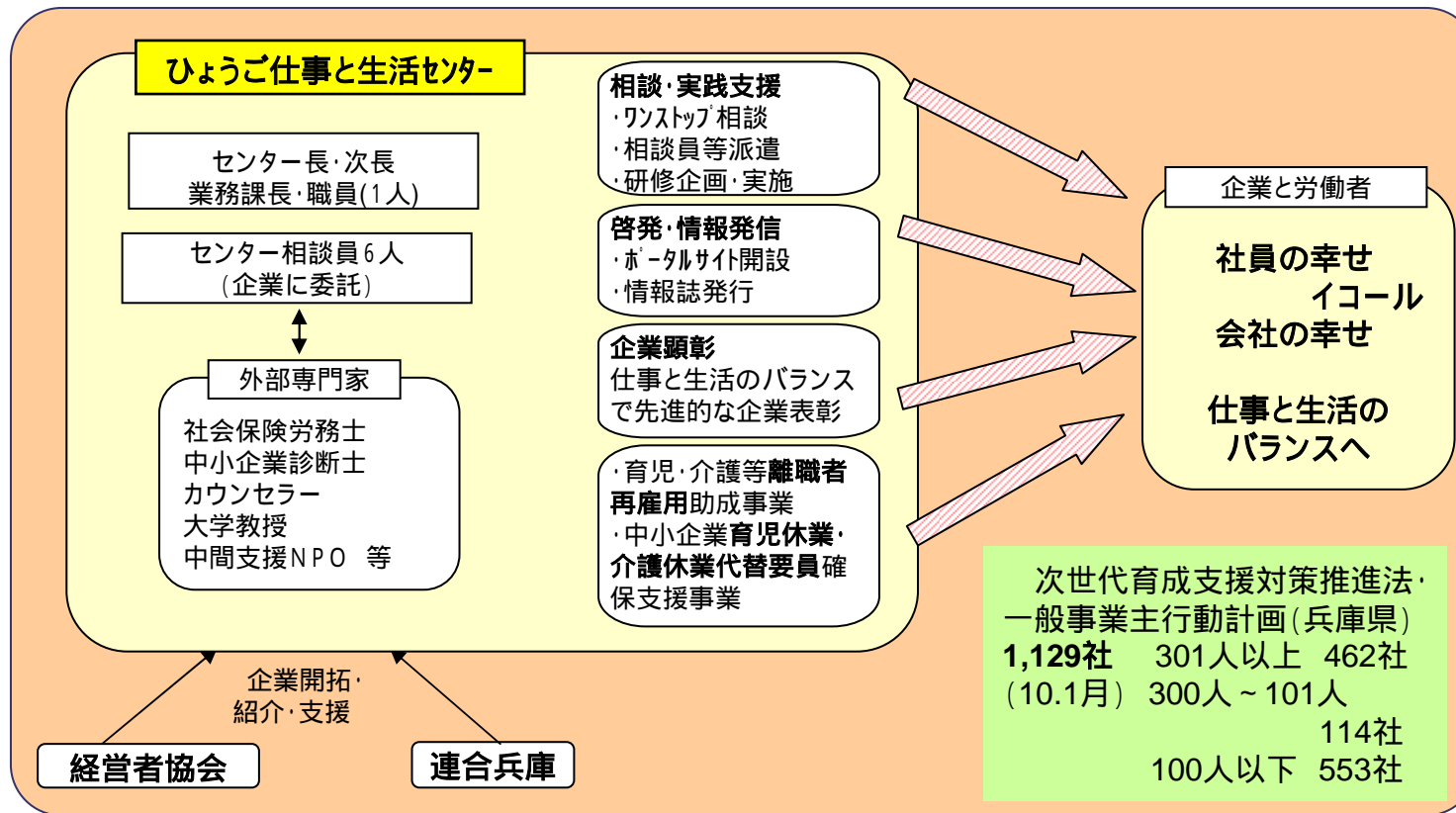
【わかってきたこと】

- ・女性登用 WLB ・女性の就業継続支援 少子化対策
- ・育休中の会社とのつながり ・マニュアルかメンター(先輩助言者)か
- ・育休取得者への支援と、周囲メンバーへの支援 ・評価をめぐる数値化か面談か
- ・1人1人の考え続けるプロセス ・オーダーメイドの助言



2

【ひょうご仕事と生活センター除幕式(09.6月)】



【09.6月オープン～10.1月までの取り組みから】

できる限り労使いっしょの場で話をする。

労組から経営側に話がいった場合、グループ企業や関連子会社に、取り組みが広がりやすい。

思った以上に多くの事業所が、経営戦略として積極的に取り組もうとしている。中間管理職向けコーチングは、好評。

社会保険労務士や中小企業診断士等の研修に力を入れている。個々の企業と日常的に接しており、オーダーメイドの相談ができる。

10.1月までの実績: ワンストップ相談 575件

相談員等派遣 238件

研修企画実施 24回

学生対象調査: 企業を選ぶ際最も重視すること(神戸大・関学866人:神戸市(09))

自分のやりたい仕事ができる 23%
仕事もプライベートも充実できる 18%
自分を大きく成長させられる 17%
給与・福利厚生など待遇がよい 13%
雇用が安定している 7%

【男子学生】	20.3%	19.8%	17.0%
【女子学生】	29.6%	15.0%	13.7%

企業事例	所在地、業種等	取り組み内容	成果
協同病理	・神戸市中央区 ・医学検査、 試験・研究受託 ・社員17人	・入社3～5年の社員による「いきいき事業所プロジェクト」 ・産休・育休プログラム ・次世代行動計画を労使、社員で策定 ・パートタイム・フルタイム正社員移行制度	・人材育成に費用がかかるので、育成費用を無駄にせず人材の定着が得られている ・営業成績にも好影響
カネヘイ	・神戸市兵庫区 ・青果卸 ・社員27人	・せりにあわせた午前3時出勤。1人が仕入れ・場内搬送・納品まで一貫して受け持つ 6時出勤でも支障のないよう業務の細分化・分担化 ・女性社員のアイデアを販売促進に。野菜を買う理由や頻度を量販店でアンケートなど。	・「子育て中の社員のカバーは当然。自分が育児するときも不安にならなくてすむ」 ・社員に料理の食材としての野菜の知識。
エスアイ	・姫路市 ・データ入力 ・社員64人	・正社員とパート社員の区別なくす 8:30～18:00の間で自由出勤、出退勤繰り返せる。全員時間給プラス協調性ポイント(繁忙期出勤者)。定年制の廃止。 ・在社社員がまちまちのため、リーダーが仕事状況を配信。	・仕事と家庭の両立支援 優秀な社員を確保、意欲の向上、多技能化 プライバシーマークを自社取得 ・育休後の当然の復帰 多子出産者の増、多様な人材の就業。
池田電機	・姫路市 ・電気機械器具製造 ・社員410人	・労使連携による職場復帰直前・直後講習。社内報・労組機関紙・子育て支援情報を毎月送付。 ・「お父さん度レベル」調査、男性の育児参加計画書作成、ビデオ・セミナー・職場懇談会など。 ・定時退社の「家庭の日」、子ども行事等多目的休暇制度、お子さま参観日にランタン制作など。	・育休取得率、職場復帰率100%。 ・若い社員たちが、近い将来の自分の姿、子育てと仕事の両立をイメージ。 ・グループ企業や関連子会社間で、情報共有・検証・広がり。
P & G グループ	・本社:神戸市 東灘区 ・家庭用消費財 ・社員4400人	・ダイバーシティ推進。「ベターワーク・ベターライフ」。フレックスタイム、在宅勤務など。 ・オンとオフのエネルギーの効果的な使い方や身体的精神的体調を整えることを学ぶトレーニング	・役員相当職の24%、部長級の23%、課長級の24%が女性。 ・女性が働きやすい会社 1位 大人の人気企業ランキング1位